

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年5月11日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105313
法人名	社会福祉法人 吉田向陽会
事業所名	グループホーム むれが岡風車の宿
所在地	鹿児島市牟礼岡1丁目3番7号 (電話) 099-294-7007
自己評価作成日	平成27年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年3月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 運営推進委員のメンバーがすべて校区社協の理事・民生委員であることから、地域との連携、密着が十分に図られている。
- 法人の母体が保育園であることから、乳幼児との交流が随時はかられ、チャイルドセラピーの効果が出ている。
- 介護スタッフのほとんどが地域在住であるので、利用者となじみの関係ができています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

九州自動車道薩摩吉田インターから約2キロ坂を上った団地の一角に事業所はあり、同法人経営の保育園が隣接して建てられている。日中は乳幼児の元気な声や歌声が聞こえたり遊んでいる様子が見られて利用者の楽しみになっている。近くには小学校、学童保育、同法人設置のコミュニティセンターがあり、頻回に活用されている。また、子どもたちがホームに気軽に立ち寄るなど地域との交流が盛んで、家庭的な雰囲気があり、利用者、家族に喜ばれている。

「入所者が、その人らしく穏やかに暮らせるよう寄り添う」という理念の基、職員は「自分の父母、親せきを介護する」という気持ちで「家族の協力を大事に」を念頭に家族と協力し介護していくことを目標に支援している。

利用者の大部分が同地区の出身者で、職員も大半が近辺に住んでいるため地域密着度が高く、家族、知人、友人の面会や農作物、手作りのおやつ等の差し入れも日常的にあり、交流が盛んで親しい関係が続いており、安心した生活につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員は就業時に理念を唱えて自分達の使命を絶えず確認している。	運営理念に加え、介護理念を作成し、笑みと優しいまなざし等、より具体的な内容となっている。玄関、スタッフルームに掲示し、朝礼や毎月のミーティング時に唱和確認して日々の介護に取り組んでいる。法人全体で接遇トレーニング、ケアポリシーなど研修を継続的に行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	介護スタッフのほとんどが地域居住者であり、利用者は地域の各種の情報に接することができる。	利用者は地域住民が多く、自治会や地域とのつながりも強く、運動会など各種の行事に積極的に参加して、継続的に地域に密着した交流ができています。保育所、小学校、学童保育の子どもともよく立ち寄り、入所者の笑顔が見られて職員共々満足につながっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人並びに事業所の職員は地域の夏まつりや敬老会・運動会・鬼火焚き等の行事にも積極的に参加している。また、校区消防分団の行事にも参加し、安心安全に役立っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーは、全員校区社協並びに校区公民館の役員であり、利用者の生活状態は周知している方々である。それらの方々に事業所での活動を報告することで、家庭状況や生活歴の情報を頂き、スタッフがどのようにケアしていけばよいかのアドバイスをもらっている。	法人のコミュニティーセンターで定期的に開催され、毎回利用者及び家族、民生委員、保育園長、老人クラブ会長等10人以上の委員が出席している。活発に意見が出され情報交換が行われ、ホームや認知症の理解並びに職員のサービスの向上につながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センター吉田からの出席もあり、指導・助言をいただいている。</p>	<p>運営推進会議に参加頂き情報や指導助言をもらっている。介護認定の更新申請の代行や事例検討等が出向いたり、電話等で助言を受けるなど連携を密に図り、協力関係を築いている。地域包括支援センター主催の会議に参加して、サービスの向上につなげている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ご家族と相談しながら、拘束が必要な場合はスタッフ会議で話し合い、期間、時間帯に注意しながら行っている。定期的に身体拘束廃止委員会を開催している。</p>	<p>法人より「身体拘束改善計画規程」が示されており、ホームで身体拘束改善委員会を立ち上げている。毎月のスタッフ会議や研修会で虐待防止や施錠の禁止、言葉による拘束等、ヒヤリハット台帳も活用して検討を重ねながら「身体拘束ゼロ」を目指して、職員が方針を共有して実践に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされないことがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会議で虐待防止委員会を定期的に開催している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>事業内研修や、外部の成年後見制度の研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前相談を十分に行い、納得していただいた上で契約を行っている。 退居の際も、退居相談を行い、十分に説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者家族から直接話していただける環境づくりをして、できるかぎり当施設へきていただけるようにし、コミュニケーションをとるように配慮している。 運営推進会議に利用者家族の出席をお願いし、運営に反映するようしている。家族会が定期的開催され、要望を受けて反映させている。	介護認定調査票等を参考に「アセスメント表」を作成して利用者、家族の意向、要望を把握し、また日常の会話や所作、表情で汲み取るように努めている。家族からは面会時や運営推進会議で聞き取り、出された要望は「連絡ノート」で共有し支援に活かしている。毎月「風車だより」を発行して生活の様子を届けて、意見や要望を引き出し、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われるスタッフ会議には、代表者や管理者は必ず出席し、スタッフの意見を聞き、運営に反映している。	管理者は毎月のスタッフ会議やミーティングで職員の意見や提案をだしやすい環境づくりを心がけている。出された意見等は日常のサービスの中で改善等につなげている。個別相談も設け、サービスの相談や休暇の変更等相互に協力して対応し、働きやすい環境を整えている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当、入浴手当、調整手当、ベースアップ等を通して職員のやりがいを高めている。 また、本人や家族（子ども等）の体調がすぐれないときは他の職員と交代できるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加した者は、研修報告をスタッフ会議の場で行い、他のスタッフに伝達して、内部研修を充実させ、スキルアップをはかっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉田地区介護保険事業所の連絡会やケアマネージャーの交流会に参加し、地域の情報交換や勉強会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	病院や施設や居宅のケアマネジャーの情報だけでなく、直接ご本人に面会して、本人の生活に対する意向や、今までの生活歴を伺い、ケアに役立っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前から、施設への訪問やご家族へのお電話等、当施設の方針やご自宅（居宅）のご様子や今までのケアの内容等を十分に話し合えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人とご家族が今一番困っていらっしゃることを、望んでいらっしゃることをしっかり聞きとり、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の身体能力に合わせて、調理、掃除等一緒に行い自立支援へつなげている。また、同じ屋根の下で暮らす家族のように接するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に家族へ各利用者の状況をお知らせしている。 病院受診に同行されるご家族には、昼食を施設で利用者と一緒に食べて頂いている。 地域の行事積極的に参加し、地域の一員としてのつながりを大事にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の運動会に出席し、魚釣り競争に参加した。 いつでも面会に来られる様、また電話でお話しが出来る様に支援している。	入所時のアセスメント等で馴染みの人、場所、お店等を把握して、これまでの関係が途切れないよう日常生活や外出の支援をしている。面会者からのお土産をみんなで分け合っていたり、団らんの場になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶の時間に共通話題（昔話等）を提供し、皆でお話ができるように心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も、電話による様子伺いや、施設や病院に直接お見舞いに行くなどしている。 御家族には、「風車だより」を送付している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本人や家族から意向を伺い、達成に向けたケアに努めている。 ケアプランに活かし、スタッフ全員の共通認識のもと、ケアを行っている。	入所時にアセスメントで把握した意向とともに、入所後は日常の散歩や食事、入浴、排泄時等における会話並びに表情、動作等から汲み取り、把握できた思い等は「支援経過記録」や「ホーム日誌」、「連絡ノート」に記録して職員が共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人やご家族、病院関係者、民生委員等から伺い、今までの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室やリビングでの生活の中や、入浴時等の支援の中で心身状態や有する能力を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時のサービス担当者会議や、毎月のスタッフ会議で、利用者の現状を報告し、スタッフの意見等を伺い、ケアプランに活かしている。利用者の中で、必要な方の課題について話し合い、定期的にモニタリングを行って支援経過に達成状況を記録している。必要に応じて、ケアプランの見直しや中間見直しを行っている。	ケアプランは本人や家族の思いや希望を取り入れ、会議等で本人の現状を報告し、職員間で意見交換して主治医等の意見も取り入れて作られている。3か月毎にモニタリングを行い、「支援経過記録」に達成状況を記入している。また、定期的な見直しと共に、状況の変化に応じて随時計画を見直し支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過記録やホーム日誌、健康チェック表等に個別の生活の記録を行っている。緊急に必要な連絡事項については、連絡ノートにより連絡している。夜勤者・日勤者の引き継ぎ時に伝達している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのときのニーズに合わせて、サービス内容を変更して対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園児との交流や美容ボランティアの訪問依頼、夏まつりや行事に参加して、地域の一員として、暮らしの楽しみを見つける様努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意により、往診や訪問診療、定期受診、緊急時の受診、眼科・皮膚科整形外科などにも同行受診を行っている。受診の際は、利用者、家族の意向を大切にしている。	かかりつけ医は入所時に把握し、協力医療機関との連携はとれている。原則として定期受診は家族同伴であるが、要望で職員が同伴する場合はバイタルチェックや生活の状況を医師に伝え、受診時の指示等は支援に活かしている。また、結果は随時家族に報告がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に2回、同法人の看護師が出勤している。 利用者の健康状態を報告し、健康管理及び、通常では出来ない医療行為に務めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	介護サマリーや薬情報を提供し、安心して治療ができるようにしている。入院になった場合は、都度訪問して安心して頂き情報交換をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族には、当ホームで出来ることを早い時期から十分にお話しして、かかりつけ医の指示を仰いで支援している。主治医より、看護職員が常駐していないホームにおいてできることの限界をご家族にお知らせしている。ご本人やご家族の希望があれば、終末期まで受け入れたい方針で事業所のターミナル指針を作成している。	「ターミナルケアの指針」を作成し、入所時に説明をし理解を得ている。現時点では実例はないが、ターミナルケアに備え、随時、家族、主治医と連携して希望に添えるように体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	何が起きているかを冷静に見極めて対応に努める。 緊急マニュアルに沿って、通常訓練を行っている。蘇生訓練、AED訓練等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災報知機と消防への自動通報システムを設置して、定期的に消防訓練を行っている。スタッフの多くは近くに住んでおり、ご近所や地域の方々にもお願いしている。</p>	<p>避難訓練は年2回消防署、地域住民の協力を得て実施している。入所者の生活は1階になっており、誘導は隣接の保育園の庭なども含め出火場所に応じて考えられている。災害が起きた場合の連絡体制は連絡網を活用し、近辺に住む職員も多いため迅速な協力体制が期待できる。災害発生時の備蓄の状況は系列法人並びに事業所に水や食糧を備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の生活歴を知り、理解し、安心して過ごせる様、一人一人の人格を尊重した言葉掛けや対応に努めている。	入所者の生活歴等を把握して誇りやプライドを傷つけないような言葉かけとともに、入浴、排せつ等で羞恥心をいだかせないように、タイミングよくさりげない態度で接するように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者との対話の中で、本人の希望や思いに添ったケアへの取り組み、自己決定を促す言葉掛けに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操やレクリエーション等の参加は強制せず、本人の意思に合わせたケアに努めている。個別ケアを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪や洗顔、お化粧をいつでも出来る様に手身近に準備している。外出の出来ない方は美容室に訪問利用依頼し、また、希望があれば美容室にお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	バイキングやそうめん流し、野外レストラン等を行っている。外出時は弁当を作って持参し、誕生日は、その方の好きなものを作る。野菜の下ごしらえや味付けを確認して頂き、一緒に調理している。利用者の出来る範囲で食器の片づけや下膳をして頂く。	食事は利用者の一番の楽しみと考え、誕生会、クリスマス会、正月料理等多くの行事食を工夫して提供している。また、外食はソーメン流し、レストラン等に家族も誘って出かけて楽しんでいる。可能な範囲で下ごしらえ等参加できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回の食事量の確認を行い、不足しがちな方には補食を摂って頂く工夫をしている。10時、15時と水分補給して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者一人一人の口腔状態を知り、毎食後の義歯洗浄、うがい、舌ブラッシングに努めている。訪問歯科診療にて口腔指導をいただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを知り、それに合わせたトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が習慣化されている。	トイレでの排泄を目標に排泄チェック表で各人のパターンを把握して誘導している。声かけや誘導は日常の動作やタイミングを見て接し、羞恥心をいだけせないように心がけて支援している。日々のケアは支援経過記録で共有している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便チェックを利用者からの聞き取りや、スタッフの誘導時の記録により、状態に応じて緩下剤服用を主治医の指示の下を行っている。食事に食物繊維を多く取り入れたり、十分な水分摂取、外出、室内歩行等の運動に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の曜日や順番は、利用者の都合や要望を取り入れている。可能な限り浴室外からの見守り時間を作り、ゆっくり入浴して頂いている。	週3回の入浴を基本にしているが、健康状態により出来なかった場合は清拭や足浴に切り替えている。拒否される利用者に対しては時間や日程、介護者を変える等、柔軟に対応し気持ちよく入浴が出来るように支援している。バイタルチェックや水分補給も適切に行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休息される様に支援している。食事等の時間もその人に合わせて、遅れて食事をお出ししている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の体調の変化や訴えを主治医と相談し、調整を行っている。服薬の変更については、その都度連絡ノートにて、スタッフ間で確認出来る様努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	金銭管理のできる方には、自由に買い物をして頂き、選挙も投票所まで同行して一人で投票できるように支援している。字の読める方には新聞を届けて差し上げる。自分の洗濯物はもちろんのこと、手の不自由な方の洗濯物までたたんで頂く等、利用者の日々の生活の中から喜びや楽しみを見出し、スタッフはそれに応じたケアを行うよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	歩行の困難な利用者も車椅子を利用し、屋外へ出かけられるよう支援している。地域での行事の参加や家族との外出等、連絡を取り合い、計画を立てての支援を行っている。	生活の変化や刺激等を十分に考慮し、外出支援は日常的に歩いて公園に出かけることをはじめ、吉野公園や外食、買物、関連施設の小規模多機能ホームへの訪問等多くの計画を立てて入居者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者からの要望や希望に沿って、買い物される際には必要な金額をその時にお渡しするようにしている。必要に応じて使用できるよう一定額はお預かりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者からの希望に合わせて、本人が電話をかけたり、ご家族からの電話を受けご本人にとりついたり、自由に使用できるようにしている。いつでも手紙が出せるよう切手を用意しており、投函時もスタッフが同行し支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気の中で、適度な室温、湿度を保てるよう、温度計・湿度計を設置し環境把握に努めている。自然な光や音を取り入れ、心地よく過ごせるよう努めている。居間や廊下に掲示を行い、生活感が感じられるよう工夫し、常に室内においての清潔保持に努めている。	リビングは明るく、食事やお茶を飲んだり会話を楽しんだり出来るテーブルとソファが備えてある。また、季節の花や作品、活動状況の写真が貼ってあり家庭的な雰囲気の中で、居心地のよい生活ができています。広く長い廊下は、歩行訓練の場ともなり、足腰の筋力低下の防止につなげている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間やソファでゆっくり過ごされたり、気の合う利用者同士が気兼ねなく過ごせるよう、スタッフは少し離れて静かに見守りを行うよう雰囲気作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の思い出の写真や、思い出のある物を、お好きな場所に配置したり、利用者や相談しながら室内の清掃を行う等しながら、心地良い環境作りを行っている。</p>	<p>ベッド、机、ミニタンス、エアコン等が備え付けてあり、その他利用者の使い慣れた家具や家族の写真、手作り品を家族の協力のもと、好みに応じて配置したり飾ったりして居心地のよい部屋作りを行っている。居室から隣の保育園の様子が伺え、子どもたちの明るい声が響き、利用者の心のなごみとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の安全を考え、自立支援を目的とし、廊下やトイレ内、脱衣所浴室の手すりやグリップの安定等、必要に応じて居室内の手すりやベッドへの介助カバーの設置、用意をしている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない